令和５年度　北海道地域環境学習講座「eco-アカデミア」講座内容

項目	講座番号	講座名	トレーナー（所属等）	内　容
「地球環境」のサイエンス	1	安全保障と環境政策	中村　恵子 （環境カウンセラー）	［講演］①～④などをテーマにお話します。：①安全保障とは　②エネルギー安全保障　③食料安全保障　④安全保障と環境政策 エネルギー、食料危機になれば私達の生命、くらし、産業を守ることができません。環境政策を進める中で、エネルギー、食料の調達を阻害する事例を紹介し留意しなければならない視点を伝えます。
	2	（新規） 身近な素材から考えるエコとゼロカーボン	高瀬　舞 （室蘭工業大学大学院工学研究科准教授）	［講演］身近にある様々な素材がどのように作られ，エネルギーや環境に対してどのような存在であるのかについて、また、大学研究者としての視点と、子をもつ親として，地域の一員としてとらえる種々の環境問題や地域の問題について広くお話しします。 ［体験］それぞれの年齢や環境にあわせ、素材そのものやエネルギーを感じるような演示実験や体験として、①～④を実施できます。①森林での様々な植物とそれらと素材の結びつきや，成分抽出など②光触媒による有機物の分解反応実験③身近な素材のガラスの工作④電気をつくる，使う工作実験（木炭電池など） ※①については野外開催可能、開催場所については要相談
「循環型社会」の構築を目指して	3	私達の実践で創ろう！！持続可能社会	中村　恵子 （環境カウンセラー）	［講演］①～⑦などをテーマにお話します。①循環型社会の道筋づくり～SDGsを意識した環境に配慮したくらし方～　②快適環境な街づくり　③バイオマスニッポンをめざして　④日本の環境問題と環境政策　⑤事業所での環境配慮の取組　⑥ごみの分別と資源化方法　⑦環境に配慮したくらし方
「環境に配慮した行動」とは何か	4	元気なうちにお片付け	石塚　祐江 （環境カウンセラー）	日常生活を楽しみながら環境にやさしい暮らし方を学びます。 ［テーマ］ごみの減量、リサイクル、生ごみ、紙ごみ、古着、布リサイクル、容器包装（３Ｒ）、生前整理、海洋プラスチックごみ、空き家処理など ［その他］小学生向けの紙芝居も体験できます。
	5	ドイツのSDGsへの取り組み。前向きで楽しいエコライフスタイル	フュルスト　ビルギット　ビアンカ （NPO法人　八剣山エコケータリング代表）	［講話］SDGsに配慮したライフスタイル、楽しく無理なくできることをコンセプトにし、ごみ対策や省エネ、交通、フェアトレード、防災、環境教育などのテーマで写真を見せながら、ドイツの成功例と札幌での活動を紹介します。
「人と自然が共生する社会」とは何か	6	野生動物及びフットパス	小川　巌 （エコ・ネットワーク代表）	［テーマ：野生動物］　ヒグマ、スズメバチ、マダニなど注意を要する動物とどう向き合ったらよいか、事故の防ぎ方等を学びます。 ［テーマ：フットパス］　全道で盛り上がりを見せているフットパスの意義、作り方、楽しみ方等を学びます。 ※どちらかのテーマを選択してください。
	7	北の植物たち	冨士田　裕子 （北海道大学名誉教授）	［講話］北海道の野生植物・植生の特徴、植物群落の保全・保護の現状、自然再生や植生復元の取組などについてお話しします。また、北海道の湿原、海岸草原、ミズバショウ、ハンノキなどについても紹介します。
	8	北海道の自然環境を保全するための先端技術-ドローン、人工衛星画像の活用とSDGsの推進-	金子　正美 （酪農学園大学名誉教授）	今、世界で気候変動への対策、生物多様性の保全の重要性が叫ばれています。このため、本講座では、北海道の森林や野生生物の現状について解説するとともに、ドローンや人工衛星画像を活用した自然環境調査の方法、SDGsの概要についてもお話します。また、希望に応じて、ドローンの体験フライト実習も行います。
	9	（新規） 変化する人とヒグマの関係と今後	佐藤　喜和 （酪農学園大学農食環境群教授）	近年大きな問題となっているヒグマの出没や被害の原因について，ヒグマの生態や行動，人間社会の変化という視点から解説します。また今後の人とのヒグマの関係を考えるために，「ゾーニング」（住み分け）という考え方と，様々な立場で「ゾーニング管理」を進めるための方法についてのアイデアを紹介します。
	10	（新規） ヒグマによる事故にあわないために	佐藤　喜和 （酪農学園大学農食環境群教授）	北海道のどこに暮らしていても，ヒグマとの遭遇は身近な問題となりました。正しく知って、正しく恐れる（過剰に恐れない）ことが大切です。ヒグマについての正しい知識を身につけて、ヒグマに出会わないために、または出会ってしまった時の対処法を学びましょう。
「体験型環境学習」を体験しよう	11	地域の宝をいかした地域教育のすすめ	高木　晴光 （NPO法人くろす野外計画社　理事長）	［講演］①～⑥などをテーマにお話します。①自然や第一次産業の豊かな北海道における環境教育、社会教育のあり方とその実践方法　②自然学校の運営　③長期間の子どもの体験活動事例　④エコツーリズムの基本的な考え方　⑤野外自然活動の意義　⑥野外自然活動のリスクマネジメントの全体
	12	体験を学びに活かす環境教育	山本　幹彦 （NPO法人当別エコロジカルコミュニティー　理事長）	［講話］①～③などをテーマにお話します。①木をテーマとする体験学習法（ＰＬＴ）や生きものを題材とする体験学習法（プロジェクトWILD）などを活用した環境教育活動の理論と方法　②ＥＳＤ（持続可能な開発のための教育）の考え方と手法　③体験活動のプログラムデザインの立案方法 ［体験］ＰＬＴやプロジェクトWILDなどのアクティビティを体験できます。 ［その他］オンラインでの講座も行っています。
	13	野外で算数・英語	山本　幹彦 （NPO法人当別エコロジカルコミュニティー　理事長）	［講話］幼児期から小学生までを対象にし、野外で遊びながら学ぶ意味や効果、教育手法、具体的な活動を紹介するほか、スウェーデンで行われている実例も紹介します。 ［体験］算数や英語などの活動の紹介を行います。（小学生以上は、単元に合わせた活動の紹介を行います。） ［その他］オンラインでの講座も行っています。
	14	体験学習のすすめ－企画から実践へ	木村　マサ子 （北海道アウトドアガイド）	「自然に親しみながら自然を知り、自然に優しい心を育てる」をモットーに、人と自然の関わりを知る体験学習を行います。函館山や近隣の海岸を素材とした体験学習や、室内においてクラフト・調理実習等を通じて地域を取り巻く環境を知ることができます。◇野外自然体験～野山の自然観察・森林の再生と活用の実習など　◇漁業体験～海岸漂着ごみの回収・水産加工場の見学・浜料理実習など
「協働取組」の進め方	15	SDGsと協働による持続可能な地域づくり	溝渕　清彦 （公益財団法人北海道環境財団）	［講話］2030年の達成年に向けて折り返し点を迎えたSDGs（持続可能な開発目標）の基礎的な情報と、「誰一人取り残さない」理念や「環境、社会及び経済の統合的向上」による「社会変革」等のポイントをお伝えします。 ［その他］ワークショップ形式を交えた講座の実施や、オンラインによる情報提供、相談対応等も可能です。
親子でチャレンジ「エコライフ」	16	海ごみはどこからきたの？	石塚　祐江 （環境カウンセラー）	日常生活を楽しみながら環境にやさしい暮らし方を学びます。［テーマ］ごみの減量、リサイクル、生ごみ、紙ごみ、古着、布リサイクル、容器包装（３Ｒ）、生前整理、海洋プラスチックごみ、空き家処理など ［その他］小学生向けの紙しばいも体験できます。
	17	「ごみ」と私たちの暮らしを考える！	石塚　祐江 （環境カウンセラー）	日常生活を楽しみながら環境にやさしい暮らし方を学びます。［テーマ］ごみの減量、リサイクル、生ごみ、紙ごみ、古着、布リサイクル、容器包装（３Ｒ）、生前整理、海洋プラスチックごみ、空き家処理など ［その他］小学生向けの紙しばいも体験できます。
	18	ドイツの環境教育とSDGsに関わる体験	フュルスト　ビルギット　ビアンカ （NPO八剣山エコケータリング代表）	［講話］ドイツの環境教育のあり方等について、学校などの実例と取組を紹介。知識・行動・心を育てる前向きな教育スタイルでエコライフの楽しさ・おいしさや可能性などについてお話します。 ［体験］エコライフについて考えるきっかけとなる①～④などの体験もできます。①羊の毛でフェルトづくり②ストーンクラフト③ウッドクラフト④ソーラークッカー体験
	19	森のようちえんと自然体験	山本　幹彦 （NPO法人当別エコロジカルコミュニティー　理事長）	［講演］幼児と自然との関係性、スウェーデンの森のようちえんについてお話しします。 ［体験］自然のメッセージを伝えてくれる森の妖精「ムッレ」と一緒に歌を歌ったりゲームなどをしながら、森の自然を知ることができます。 ［その他］オンラインでの講座も行っています。
	20	（新規） サルベージ・パーティ ～フードロスを体験から学ぼう～	和田　順子 （good food,good life 代表）	［講演］フードロスの現状や世界の環境問題との関係、私たちにできることなどついてお話しします。防災の要素を交えたお話も可能です。 ［体験］①又は②の体験ができます。①クッキング…家で持て余した食材を持ち寄り、持ち寄った食材だけを使って料理して、みんなでいただきます。②ドローイング…食材カードを使い、限られた食材だけでどんな料理ができるかを絵に描いてみます。